

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|-------------------|-----------------|---|-------------|---|---------------|
| 科 目 名 | 基本技術IV(ヘルスアセスメント) | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2学年 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 新館2階3階実習室 |
| 担 当 教 員 | 柏原 弘子 | 実務経験と その関連資格 | 看護師 病院,施設等で19年勤務 教育機関で勤務 | | | |
| 《科目目標》 ① 各臓器についてのフィジカルアセスメントの方法を知り、実践できる ② 事例を通してフィジカルアセスメントが実践できる | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 【評価方法】 課題15%、授業態度10%、計画立案5%、ロールプレイ発表5%、理解度テスト20%、終講試験45%の総合評価とする。 【評価基準】 優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術 I メディカ出版 1巻 解剖生理 7巻 呼吸機能障害/循環機能障害 8巻 栄養代謝機能障害 10巻 脳・神経機能障害 11巻 運動機能障害 EX1巻 呼吸器 EX2巻 循環器 EX3巻 消化器 EX5巻 脳・神経 EX7巻 運動器 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 ①事前・事後学習を行い授業に出席する。事前課題は必須。 ②指示している動画を視聴して出席する ③バイタルサイン測定、フィジカルアセスメントの基本技術を習得するよう練習する。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 ①提出物は、クラス単位で回収し指定された時間を守り提出する ②グループワークや意見交換は時間を有効に積極的に行う ③ロールプレイ発表は、全員で役割を担い発表する ④言える、書ける、行動できるよう主体的学習姿勢で臨む | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | フィジカルアセスメントの実際 | 教科書 | 解剖Tシャツ作成 白Tシャツ、鉛筆、黒油性マジック | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 鎖骨、肋骨、脊柱の解剖を理解する。 | | 解剖を予習 | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | フィジカルアセスメントの実際 | 教科書 | 解剖Tシャツ作成 白Tシャツ、鉛筆、黒油性マジック | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 鎖骨、肋骨、脊柱の解剖を理解する。 | | 解剖を予習 | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸器系のフィジカルアセスメントの視点を考える | 教科書 小テスト | 呼吸器系の解剖生理を予習 解剖Tシャツ着用 課題 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 呼吸器系の構造と機能が説明できる。 呼吸器系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点が理解できる。 | | | |
| 第4回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸器系のフィジカルアセスメントが実施できる | 教科書 | 課題 解剖Tシャツ着用 下は白衣ズボン ナースシューズ 聴診器 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 呼吸器系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする。 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 循環器系のフィジカルアセスメントの視点を考える | 教科書 小テスト | 循環器系の解剖生理を予習 解剖Tシャツ着用 課題 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 循環器系の構造と機能が説明できる。 循環器系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点が理解できる。 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|-------------|---|
| 第6回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 循環器系のフィジカルアセスメントが実施できる | 教科書 | 課題 解剖Tシャツ着用 下は白衣ズボン ナースシューズ 聴診器・血圧計 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 循環器系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする。 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 消化器系のフィジカルアセスメントの視点を考える | 教科書 小テスト | 消化器系の解剖生理を予習 課題 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 消化器系の構造と機能が説明できる。 消化器系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点が理解できる。 | | |
| 第8回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 消化器系のフィジカルアセスメントが実施できる | 教科書 | 課題 解剖Tシャツ着用 下は白衣ズボン ナースシューズ 聴診器 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 消化器系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする。 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 中枢神経、骨・筋系のフィジカルアセスメントの視点を考える | 教科書 小テスト | 中枢神経、骨・筋系の解剖生理を予習 課題 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経、骨・筋系の構造と機能が説明できる。 中枢神経、骨・筋系の観察(視診・触診・打診・聴診)の視点が理解できる。 | | |
| 第10回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 中枢神経、骨・筋系のフィジカルアセスメントが実施できる | 教科書 | 課題 ジャージ・ナースシューズ |
| | | 各コマにおける授業予定 | 中枢神経、骨・筋系のアセスメント観察(視診・触診・打診・聴診)が実施できる。観察した結果をアセスメントする。 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ | 教科書 | 援助計画の立案(O-P、T-P、E-P) 各自事前にプレゼンの練習を実施 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考える。 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ | 教科書 | 援助計画の立案(O-P、T-P、E-P) 各自事前にプレゼンの練習を実施 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考える。 | | |
| 第13回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ | 教科書 | 援助計画の実施(O-P、T-P、E-P) 白衣・ナースシューズ |
| | | 各コマにおける授業予定 | 事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考え実践。 | | |
| 第14回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 事例の場面から必要な観察、判断を学ぶ | 教科書 | 援助計画の実施(O-P、T-P、E-P) 白衣・ナースシューズ 第1回～14回の授業の振り返り |
| | | 各コマにおける授業予定 | 事例場面から必要な情報を考える。情報からアセスメントし対象の状態を判断する。判断したことから必要な看護援助を考え実践。 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | まとめ・終講試験 | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | まとめ・終講試験 | | |